

大和平野の利水と吉野川分水について

仲川政成

第6回大和川流域委員会

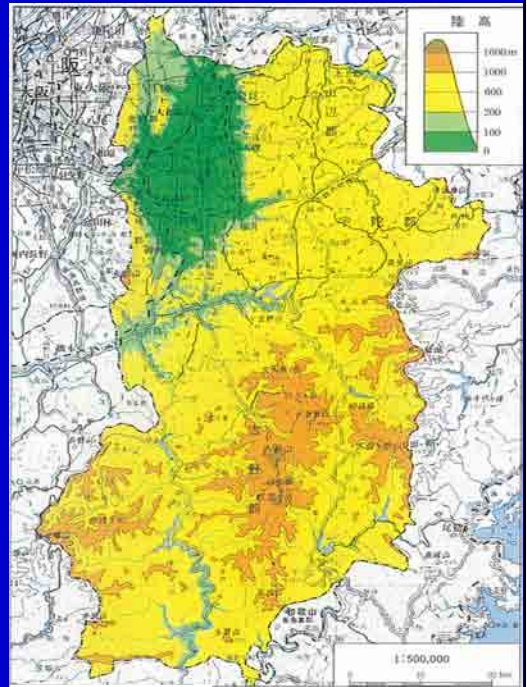
1. 大和平野の概要

第6回大和川流域委員会

1-1. 大和平野の地形と河川

大和平野は、奈良盆地といい、西側には生駒、金剛の山脈が南北に走り、東部から南にかけて大和高原(笠置山系) 竜門宇陀山地に囲まれた沖積層からなる平坦部である。

大和平野の大きさは、東西約16km南北約30km、面積約300km²、海拔40~100mの盆地である。



奈良県地形図

奈良県地形図

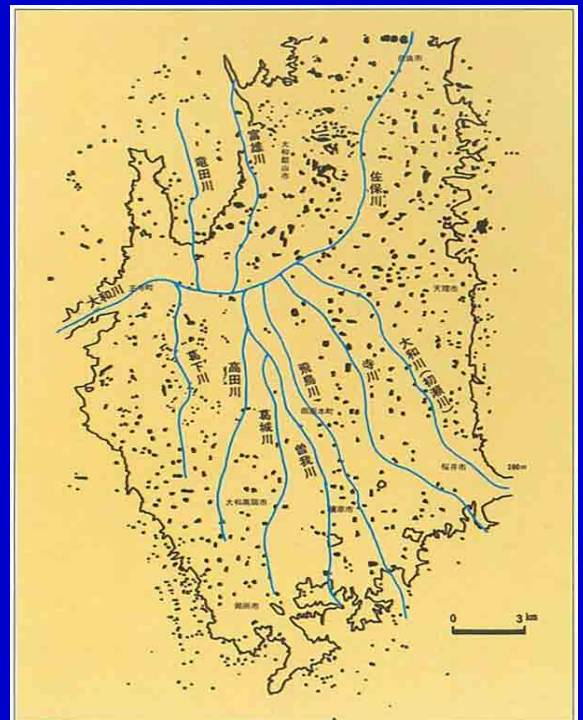
第6回大和川流域委員会

出典;「吉野川分水」

大和平野土地改良区、奈良県

大和平野の河川は、周辺山地から発する諸支流が王寺町付近で合流し、大阪府の河内平野を経て大阪湾に注いでいる大和川が唯一の主要河川となっている。

四囲山地は浅く、上流部は急峻かつ流路が短く中下流部は緩勾配で土砂が堆積し天井川をなしている。そのため平時は渇水となり干害を招き、降雨時は出水が激しくしばしば水害をおこしてきた。



出典;「吉野川分水」

大和平野土地改良区、奈良県

大和平野のため池と河川

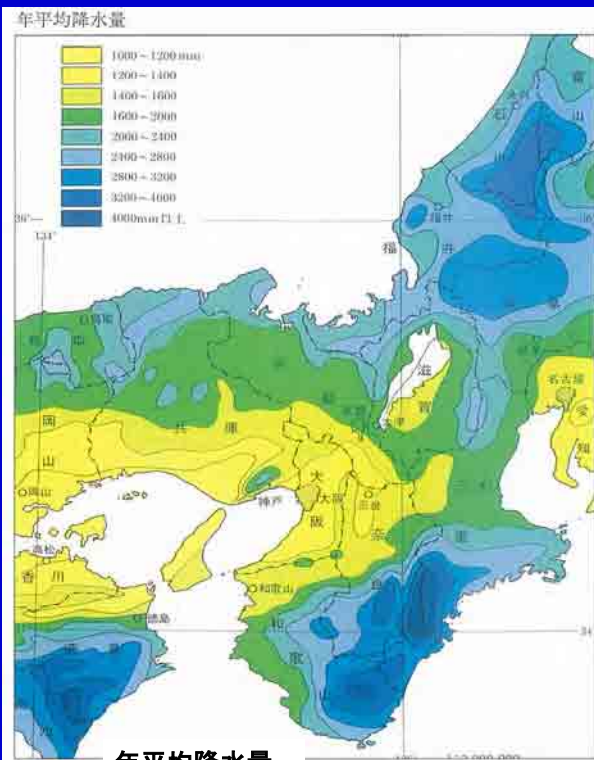
第6回大和川流域委員会

1-2. 大和平野の気象

大和平野地域(奈良盆地)の年間降水量は1,300~1,400ミリと少なく、類例をみない寡雨地帯である。

一方吉野川分水の水源となる吉野山地は、年降水量2,000~4,000ミリで、我が国の多雨地域の一つになっている。特に大台ヶ原山を中心とする台高山脈一帯は、年降水量は4,000ミリをこえ、大台ヶ原では、1938年(昭和13年)には7,744ミリを記録している。

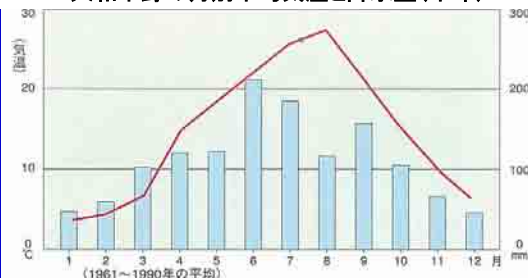
このように奈良県は、極端な寡雨地帯と極端な多雨地帯がまったく対照的に同居している地域である。



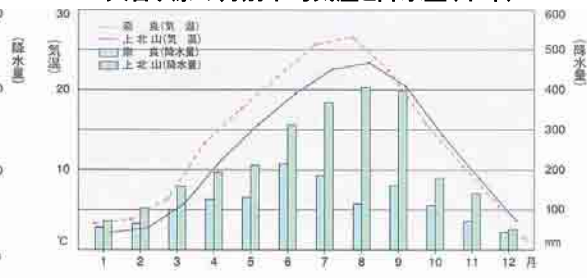
出典:「吉野川分水」
大和平野土地改良区、奈良県

第6回大和川流域委員会

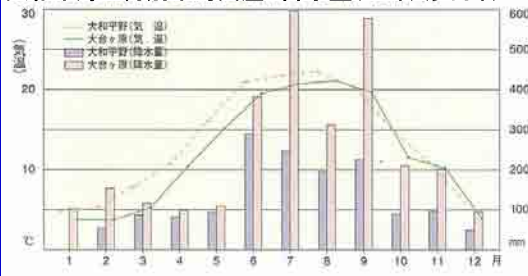
大和平野の月別平均気温と降水量(平年)



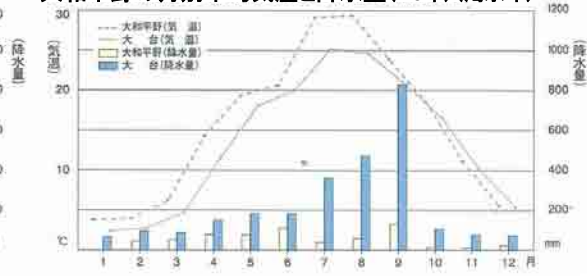
大台ヶ原の月別平均気温と降水量(平年)



大和平野の月別平均気温と降水量(H5年)(多雨年)



大和平野の月別平均気温と降水量(H6年)(渇水年)



出典:「吉野川分水」
大和平野土地改良区、奈良県

第6回大和川流域委員会

2. 大和平野の利水の歴史

第6回大和川流域委員会

2-1. 歴史的概観

大和豊年米食わず

このことばは、大和の天候が順調であると他の地方は雨が多く不順な年となり、他が豊作であれば大和は干ばつに苦しむ、つまり、大和平野の農業用水の不足をいいあらわしています。

もともと少雨地帯であり、大きな河川にめぐまれず、水源のほとんどをため池に頼ってきました。

ところが、山ひとつ隔てれば、日本有数の大河・吉野川(紀の川)が流れています。しかも、大台ヶ原など最も雨の多い流域は奈良県。そこに降った雨のほとんどが紀州(和歌山県)に流れていく。なんとか吉野川の水を大和平野へひけないものか(分水という)。これが大和平野の農民のかなわぬ夢でした。



隠し井戸による水汲みのようす

出典：「国営十津川紀の川土地改良事業
国営大和紀伊平野土地改良事業」

第6回大和川流域委員会

1

みのりをもたらす水

すべての生き物には水が必要です。
人間生活にも欠くことができません。
私たちが食べている食物も水がなければ育ちません。
命の源(食事の素材となる農産物)を作るのが農業です。
農業は水がなくてはできません。



出典;「大和平野にみのりをもたらす吉野川分水」
奈良県農林部耕地課

第6回大和川流域委員会

2

雨が少ない地域

雨のすくない北部地域(大和平野)は、降った雨を受けとめる山が浅く、一気に流れるため、ふだんは川にほとんど水が流れません。

南部地域(吉野山地)は雨がたくさん降り、受けとめる山も深く、少しずつながれるため、川にはたくさんの水が流れます。



奈良県北部



出典;「大和平野にみのりをもたらす吉野川分水」
奈良県農林部耕地課

第6回大和川流域委員会

3 雨の少ない地域で 暮らす知恵

井堰をつくる

そのため、人々は川をせき止めて水を引き入れ、農業に使いました。しかし、雨の少ないこの地域では十分な水が川にありません。そのため、水の取り合いが起こり、その結果、力の強いところが水を取る権利(水利権と言う)を得ました。

～今でも大和平野地域では、水利権が複雑です。



井戸をほる

それでもなお、水が不足するため、「かくし井戸」という井戸を田の中に造りました。普段は姿を現しません、水が少ない非常時に使われました。「ハネツルベ」という道具で人力で水をくみ上げました。

出典；「大和平野にみのりをもたらす吉野川分水」
奈良県農林部耕地課

第6回大和川流域委員会

ため池をつくる

しかし、安心して水が使えないので、水をためておく、池を造ることを考えました。

そのため、大和平野地域では、皿池という比較的浅く、形の整った正方形に近い池がたくさんあります。



分水をつくる

人々がたくさん住むようになってきて、水がたくさん必要になってきました。

ため池や井戸では限界があって、南部に豊富にある水を北部に流してることが江戸時代からの悲願となっていました。

実現には難問がありましたが、津風呂・大迫・猿谷の3つのダムで水をたくわえることにより、やっと水を流してることが実現されました。これが吉野川分水です。



出典；「大和平野にみのりをもたらす吉野川分水」
奈良県農林部耕地課

第6回大和川流域委員会

2-2.溜池

◆倉橋溜池(くらはしためいけ)

山の中の湖のような景観に優れた池



【倉橋溜池概要】

- ・堤 長……250m ・堤 高……36.5m
- ・受益面積……860ha
- ・事業名……①県営防災ダム事業(昭和62年度～平成12年度)
②県営水環境整備事業(平成11年度～平成16年度)
- ・事業費……①6,509,500千円 ②420,000千円

大和川水系の最上流部、急峻な山間地にあるため、周辺地域の景観はバツグン。農業用水の確保と共に、洪水調節機能を備えた防災ダムとして整備されています。

出典;「ゆう・遊…ため池マップ」奈良県

第6回大和川流域委員会

◆高山溜池(たかやまためいけ)

農作物への安定供給と用水の池



【高山溜池概要】

- ・堤 長……135m ・堤 高……23.4m
- ・受益面積……530ha
- ・事業名……県営かんがい排水事業(昭和24年度～昭和38年度)
- ・事業費……209,624千円

生駒市の北端丘陵地帯、茶筌の里として有名な高山町にある大きな溜池。昭和以降に奈良県が築造した溜池で、白川溜池・倉橋溜池・斑鳩溜池とあわせて奈良県の四大溜池と呼ばれています。

出典;「ゆう・遊…ため池マップ」奈良県

第6回大和川流域委員会

◆白川溜池(しらかわためいけ)

山辺の道に沿う大規模な溜池



奈良市の弘仁寺から天理市の石上神宮に至る、山辺の道の中ほどにある大きな白川溜池は、大正13年の大干ばつにより、甚大な被害を被ったのを契機として築造されました。

【白川溜池概要】

- ・堤 長……270m ・堤 高……19m
- ・受益面積……440ha
- ・事業名……①県営かんがい排水事業(大正15年度～昭和8年度)
②県営白川治水ダム建設事業(昭和47年度～平成9年度)
- ・事業費……①428千円 ②15,100,000千円

出典;「ゆう・遊・・・ため池マップ」奈良県

第6回大和川流域委員会

◆斑鳩溜池(いかるがためいけ)

自然と歴史文化に囲まれた池



斑鳩町の北、矢田丘陵の麓にある山池ですが、斑鳩高校セーリングが活かし、海のない県下でマリンスポーツ、それもヨットの練習をしたと話題を呼びました。

【斑鳩溜池概要】

- ・堤 長……180m ・堤 高……10m
- ・受益面積……110.5ha
- ・事業名……①県営かんがい排水事業(昭和16年度～昭和22年度)
②ため池等整備事業(平成8年度～平成12年度)

出典;「ゆう・遊・・・ため池マップ」奈良県

第6回大和川流域委員会

2-3.農業用井堰



第6回大和川流域委員会

米川松葉井堰



第6回大和川流域委員会

佐保川番条北井堰



第6回大和川流域委員会

佐保川番条南井堰



第6回大和川流域委員会

富雄川萬願寺町井堰



第6回大和川流域委員会

地藏院川稗田井堰



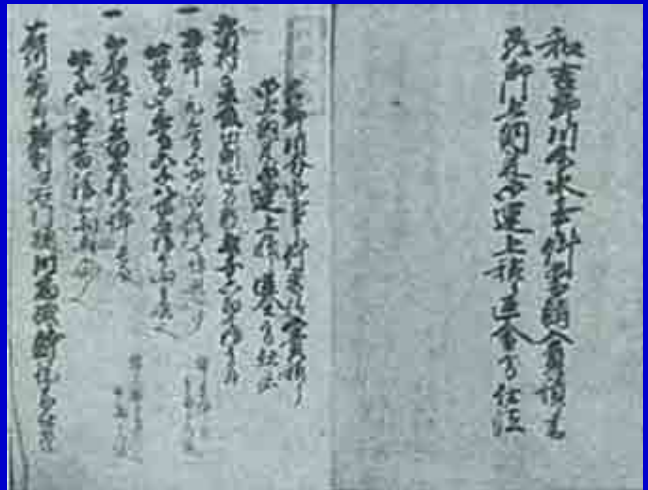
第6回大和川流域委員会

3. 吉野川分水

3-1. 吉野川・紀の川分水史

◆大和平野への分水計画

吉野川分水は江戸から昭和にいたる300年の間、浮かんでは消え、消えては浮かんだ大和平野の歴史的悲願だったのです。



吉野川分水普請入費積り書

300年にもおよぶ大和の悲願、紀州の苦闘。
その歴史から、先人の苦勞とその礎を振り返ることで、改めてこの歴史的偉業の重要性を認識し、次世代にその資産をよりよく継承することが私たちの責務であると考えます。

年代	事例
元禄年間(1688～1703)	名柄村(現在の御所市)の庄屋高橋佐助が吉野川の水を重阪(御所市)に引水する計画を考える
寛政10年(1798)	角倉玄匡が吉野川分水の計画をたてるために実地に調査し関係する市町村の住民の意向を聴取
安政5～6年(1858～59)	下淵村の住民の間で「吉野川分水計画」が検討される
文久2年(1862)	五條の乾十郎らが吉野川分水計画を樹立し、中川の宮に口上書を提出
明治3年(1870)	春日大社の神官辰市祐興が吉野川分水を計画 摂津国鍛冶屋村の植田勘治郎が建白書を提出
明治16年(1883)	添上郡大安寺の井村正作らが「吉野川分水請願書」を大阪府知事に提出
明治28年(1895)	奈良県知事古沢滋が吉野川分水問題を検討し県会で諮問
大正4年(1915)	奈良県が吉野川分水計画の基本調査を行うが、下流の和歌山県側の反対にあい計画は中止
昭和4年(1929)	奈良県が「吉野川分水計画概要」を作成

出典：「吉野川分水」奈良県、大和平野土地改良区

第6回大和川流域委員会



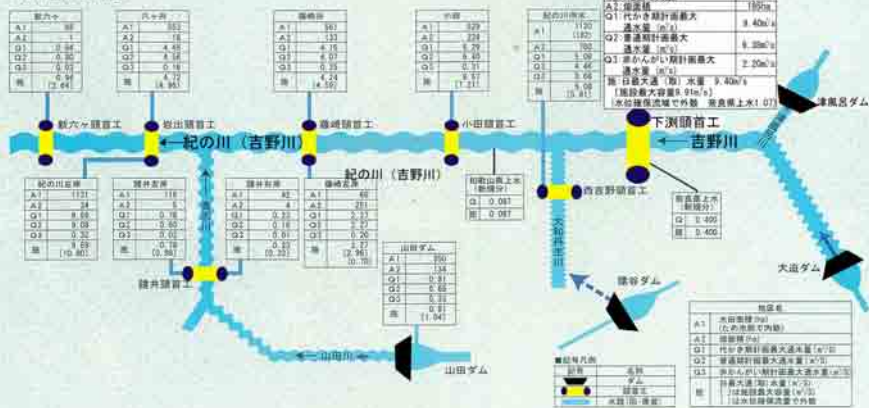
出典：「国営十津川紀の川土地改良事業 国営大和紀伊平野土地改良事業」

第6回大和川流域委員会

◆用水計画

- 1.計画基準年 昭和19年:かんがい期雨量 1/10相当
- 2.計画かんがひ方式 [水田] 水 稲-たん水かんがい (かんがい期間 6月上旬~9月下旬 代かき期間 (6月上旬~中旬 10日間))
 畑作物-うね間かんがい (かんがい期間 適年)
 [畑] 畑作物-うね間かんがい (かんがい期間 適年) 散水かんがい (かんがい期間 適年)
 [樹園地] 果 樹-うね間かんがい (かんがい期間 適年) 散水かんがい (かんがい期間 適年)

3.計画用水系統



注) 受益市町村及び受益面積、宮城計画、用水計画については、国営大和紀伊平野土地改良事業のものも示してあり、
 国営第二十津川紀の川土地改良事業には、海潮市、貴志町間は含まれておりません。

県名	種別	受益面積	全補給水量
奈良	かんがい上水道	9,290.0ha	64,996,000m ³
和歌山	紀の川筋かんがい浄水路・工業用水	9,876.4ha	66,396,000 m ³
和歌山	貴志川筋かんがい	701.0ha	4,132,000 m ³

出典;「国営十津川紀の川土地改良事業国営大和紀伊平野土地改良事業」

第6回大和川流域委員会

3-2. 吉野川分水事業の経緯

年月	項目
昭和22年 12月	十津川・吉野川総合開発調査競技会設置 経済安定本部・農林・運輸・内務各省、奈良県、和歌山県、学識経験者、日本発電(株)により総合開発計画のための調査方針の決定
昭和24年 8月	奈良平野利水事業期成同盟会発足
昭和24年 10月	十津川・紀の川総合開発協議会設立 利水基本方式、事業実施順位につき奈良・和歌山両県の了解設立
昭和25年 6月	十津川・紀の川総合開発事業協定書成立(プルニエ協定)
昭和27年 8月	猿谷ダム工事(建設省)起工式
昭和29年 9月	津風呂ダム着工
昭和30年 3月	大和平野土地改良区設立
昭和31年 7月	下淵試験分水開始 試験通水(0.16m ³ /s)で吉野川(紀の川)の水がはじめて、大和平野に分水される
昭和32年 6月	猿谷ダム竣工

出典;「大和平野土地改良区」

第6回大和川流域委員会

年月	項目
昭和36年 6月	下泷分水協定(昭和36年～昭和40年まで)
昭和37年 3月	津風呂ダム竣工
昭和38年 4月	大迫ダム着工
昭和48年 9月	大迫ダム竣工
昭和60年 3月	国営十津川・紀の川土地改良事業完了
昭和62年 3月	県営大和平野土地改良事業完了
平成元年 1月	十津川・紀の川農業水利の水利権更新にかかる河川法第95条協議成立 年間水利権の確定 下泷取水量 夏期9.91 m ³ /s 冬季 2.91 m ³ /s
平成15年 4月	大和紀伊平野農業水利事務所開設

出典;「大和平野土地改良区」

第6回大和川流域委員会

3-3. 事業の概要

◆大迫ダム



河川名	吉野川(紀の川)	満水面積	107ha
位置	奈良県吉野郡川上村大迫	最大取水量	20m ³ /sec
型式	不等厚ドーム型アーチダム	流域面積	直接114.8km ²
堤高	70.50m	発電使用水量	最大15.0m ³ /sec
堤長	222.30m	出力	最大7,400kW
堤体積	158,000m ³	総事業費	15,623,303千円
貯水量	27,750,000m ³	着工	S38. 4
有効貯水量	26,700,000m ³	完成	S48. 9

出典;「吉野川分水」

大和平野土地改良区、奈良県

第6回大和川流域委員会

◆猿谷ダム



河川名	十津川	満水面積	100ha
位置	奈良県吉野郡大塔村	最大取水量	16.7m ³ /s
型式	直線重力方式コンクリートダム	流域面積	直接82.85km ² 間接253.22km ²
堤高	74.00m	発電使用水量	常時 6.5m ³ /s 最大16.7m ³ /s
堤長	170.00m	出力	常時(第一)10,800kw (第二)4,500kw 最大(第一)33,900kw (第二)13,100kw
堤体積	174,300m ³	総事業費	4,990,000千円
貯水量	23,500,000m ³	施工	S27. 8
有効貯水量	17,300,000m ³	完成	S32. 6

出典;「吉野川分水」
大和平野土地改良区、奈良県

第6回大和川流域委員会

◆津風呂ダム



河川名	津風呂川(紀の川)	満水面積	150ha
位置	奈良県吉野郡吉野町河原屋	最大取水量	11m ³ /sec
型式	直線重力方式コンクリートダム	流域面積	直接38.8km ²
堤高	54.30m	発電使用水量	—
堤長	240.00m	出力	—
堤体積	222,300 m ³	総事業費	2,845,453千円
貯水量	25,550,000m ³	施工	S29. 9
有効貯水量	24,600,000m ³	完成	S36. 8

出典;「吉野川分水」
大和平野土地改良区、奈良県

第6回大和川流域委員会

◆下淵頭首工



位 置	吉野都大淀町下淵	ゲート構造	転倒堰 10,000×2,850 1門 18,500×2,850 1門
堤 高	4.58m	総事業費	1,389,790千円
堤 長	30.50m	着 工	S47. 2
取入水位	131.030m	完 成	S49. 3
取入水量	10,977 m ³ /s (うち奈良県営水道1.07 m ³ /s)		

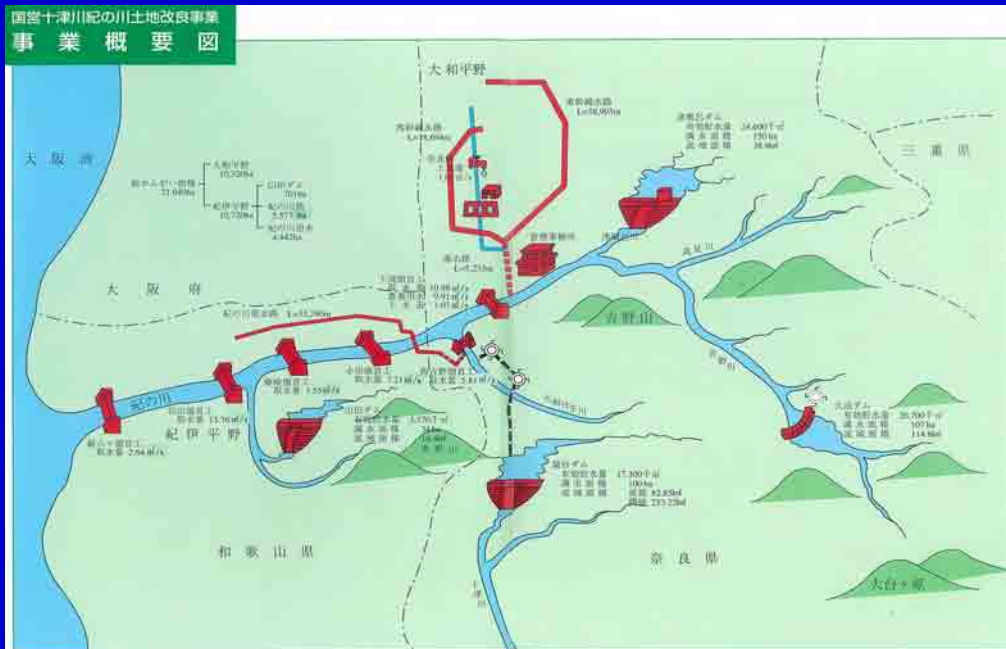
◆和歌山県の頭首工

頭首工名	西吉野頭首工	小田頭首工	藤崎頭首工	岩手頭首工	新六ヶ頭首工
河川名	紀の川(大和丹生川)	紀の川	紀の川	紀の川	紀の川
位 置	奈良県五條市	和歌山県伊都郡高野口町	和歌山県那賀郡恭賀町	和歌山県那賀郡岩出町	和歌山県和歌山市
堤 高	2.05m	2.80m	1.50m	2.90m	1.40m
堤 長	26.70m	221.40m	212.00m	258.20m	365.80m
取入水位	99.60m	66.30m	36.80m	17.79m	3.50m
取入水量	5.81 m ³ /s	7.21 m ³ /s	7.55 m ³ /s	15.76 m ³ /s	2.64 m ³ /s
事業名	国営紀の川用水 土地改良事業	国営十津川紀の川 土地改良事業	国営十津川紀の川 土地改良事業	国営十津川紀の川 土地改良事業	国営十津川紀の川 土地改良事業

出典:「吉野川分水」大和平野土地改良区、奈良県

第6回大和川流域委員会

3-4-1. 国営十津川・紀の川土地改良事業概要図



出典:「吉野川分水」
大和平野土地改良区、奈良県

第6回大和川流域委員会

3-4-2. 十津川・紀の川総合開発事業計画図

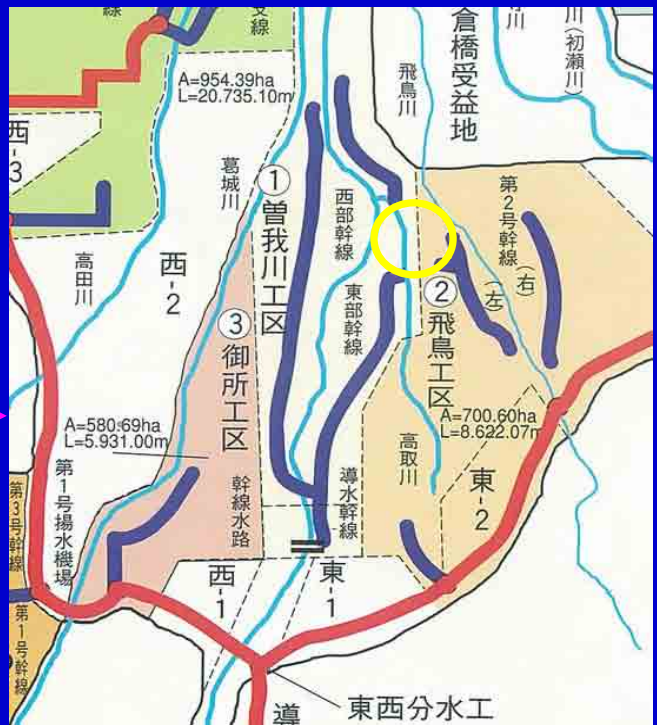


出典;「大和平野にみのりをもたらす吉野川分水」
奈良県農林部耕地課

3-4-3. 大和平野 土地改良区概要図



出典;「吉野川分水」
大和平野土地改良区、奈良県



3-4-4. 幹線水路(頭首工)

<幹線導水路の概要>

内 訳	場 所	工 期	事業量	備 考
第1トンネル	大淀町下淵～大淀町今木	昭和28年度～33年度	ℓ=3,199.45m	下流頭首工で取水した水を御所市樋野にある東西分水工まで導水する。
接続部開渠	大淀町今木		ℓ= 323.01m	
第2トンネル	大淀町今木～御所市樋野		ℓ=1,711.0m	
●通水量		第1トンネル 10.98m ³ /s (水道1.07m ³ /sを含む)	●支配面積 10,320ha	
		接続部開渠 10.98m ³ /s 9.827m ³ /s (今木分水1.15m ³ /s)	(東西幹線 9,408ha)	
		第2トンネル 9.80m ³ /s	(今木分水 912ha)	

<東西分水工の概要>

内 訳	場 所	工 期	事業量	備 考
	御所市樋野	昭和31年度～32年度	渠ℓ=32m 面ℓ=95m	
●通水量 9.827m ³ /s (水道1.07m ³ /sを含む)		●支配面積 9,408ha		

<東西幹線水路の概要>

内 訳	場 所	工 期	事業量	備 考
東部幹線水路	御所市樋野～天理市渋谷～奈良市戴之庄～大和郡山田中町	昭和31年度～48年度	ℓ=38,903m (ℓ=36,989m)※1 (ℓ= 1,914m)※2	
西部幹線水路	御所市樋野～新庄町藤田～当麻町染野～香芝市別所	昭和31年度～46年度	ℓ=18,694m (ℓ=18,562m)※1 (ℓ= 132m)※2	
●通水量		東部幹線水路 4.443m ³ /s	●支配面積	
		西部幹線水路 4.314m ³ /s	東部幹線水路 5,097ha	
合 計 8.757m ³ /s		西部幹線水路 4,311ha		
		合 計 9,408ha		

出典:「吉野川分水」
大和平野土地改良区、奈良県

第6回大和川流域委員会

◆県営(曾我川)頭首工



出典:「吉野川分水 十津川・紀の川土地改良事業」
奈良県、大和平野土地改良区

第6回大和川流域委員会

◆県営(飛鳥川)頭首工



出典；「吉野川分水 十津川・紀の川土地改良事業」
奈良県、大和平野土地改良区

第6回大和川流域委員会

◆高取川旭井堰



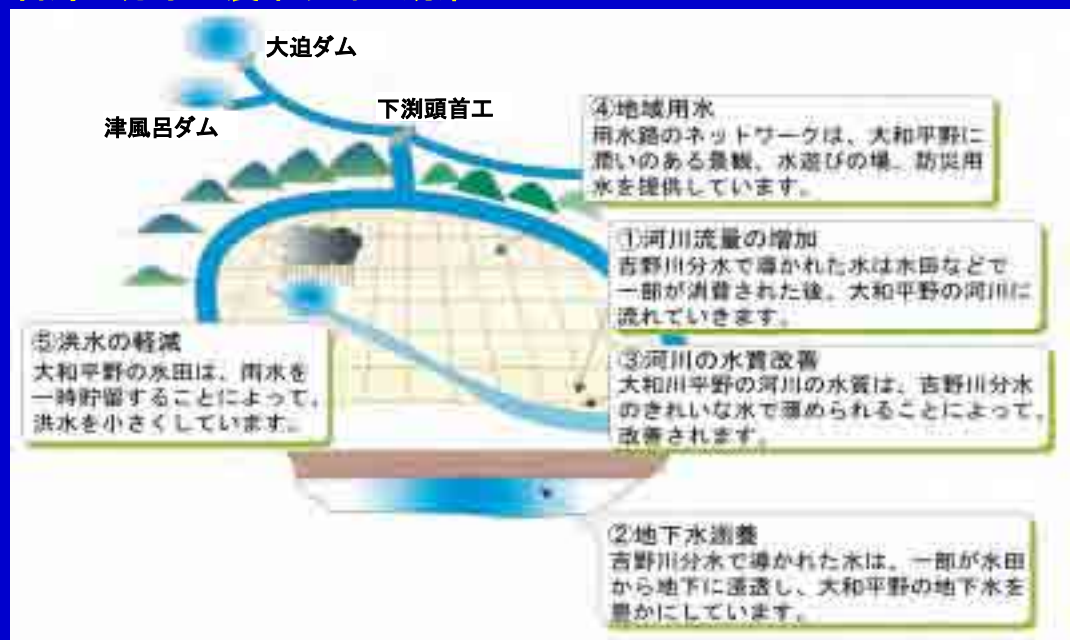
第6回大和川流域委員会

◆国営西部幹線水路馬見サイホン入口
 県営北葛城工区第2号幹線分岐点【當麻町當麻】



出典：「吉野川分水」
 大和平野土地改良区、奈良県

3-5-1. 吉野川分水とは
 吉野川分水の農業以外の効果

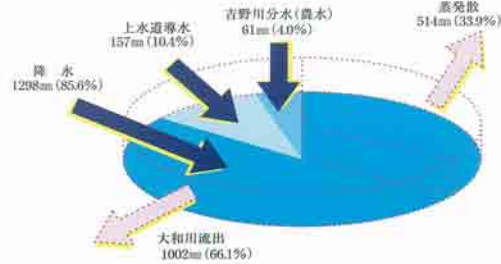


出典：「吉野川の多面的機能」奈良県農林部耕地課

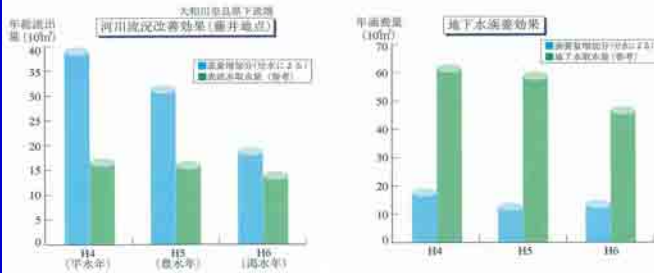
3-5-2. 河川流況の改善

河川流況の改善 ・地下水涵養

大和平野の水収支(平成4年度)



吉野川分水による河川流況改善効果・地下水涵養効果



この河川流量の増加分をダム開発で代替しようとするれば、概算で約220億円必要となります。(H14の平水年で試算)

第6回大和川流域委員会

出典;「吉野川の多面的機能」
奈良県農林部耕地課

水質改善効果

吉野川分水による藤井地点BODの改善効果



出典;「吉野川の多面的機能」奈良県農林部耕地課

第6回大和川流域委員会

3-5-3. 地域用水効果

地域用水効果

景観

吉野川分水の用水路・導入された水は、大和平野に潤いのある景観を提供しています。



親水

吉野川分水の用水路では、水遊び・散策などで水に親しむことができます。



防災

吉野川分水の用水路は地域にくまなく張り巡らされており、消化用水として利用することができます。



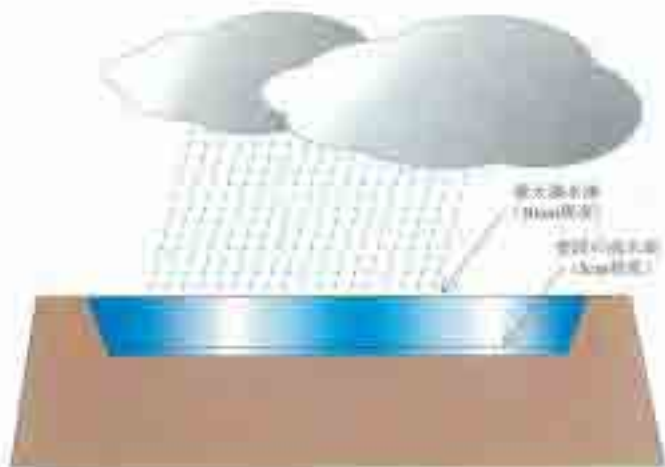
出典；「吉野川の多面的機能」奈良県農林部耕地課

第6回大和川流域委員会

洪水の軽減

水田の雨水貯留機能

水田の畦畔の高さは30cm程度ありますが、常時の湛水5cm程度です。降雨時には最大で25cmを貯留することができます。水田は流域くまなく広がった治水ダムと考えることもできます。



この吉野川流域の水田により一時的に雨水を大量に貯留し、洪水の被害を軽減することができます。これは、堤防で1分間隔に貯留するよりも効果的です。

出典；「吉野川の多面的機能」奈良県農林部耕地課

第6回大和川流域委員会

4. 奈良県営水道

第6回大和川流域委員会

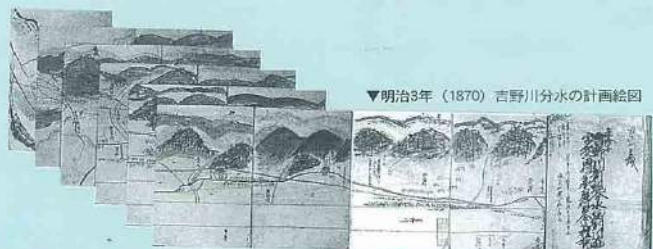
4-1. 水の歴史と県営水道のあゆみ



▲雨乞いおどりの様子を描いた絵馬（川西町結崎/糸井神社所蔵）
激しい日照りがつづくとき村をあけて雨乞いをした



▲文久2年（1852）大和高田市/吉俵氏所蔵



▼明治3年（1870）吉野川分水の計画絵図
吉野川分水への熱い願いがこもった古文書 水不足を解消するための分水に多くの人々があらゆる手をつくしたが、いずれも実現にはいたらなかった

出典；「奈良県営水道」
奈良県水道局

第6回大和川流域委員会

奈良県河川流域図



出典:「奈良県営水道」奈良県水道局

第6回大和川流域委員会

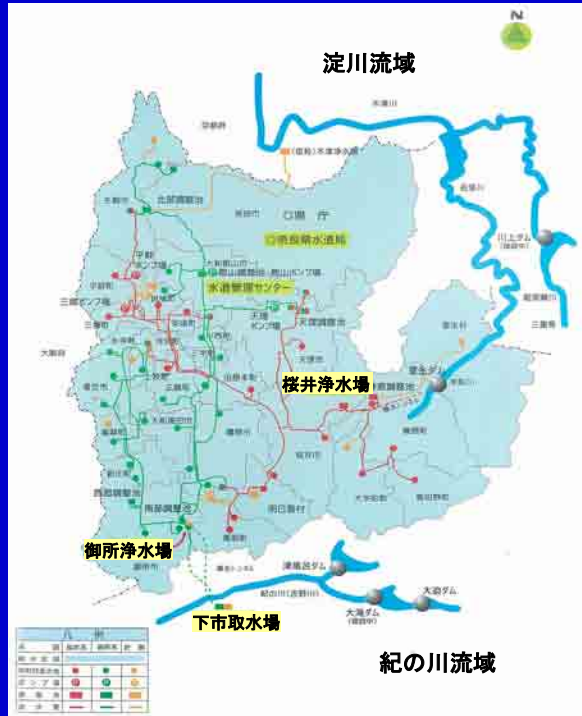
4-2-1. 事業の概要

	創設・第1次拡張・第2次拡張事業		第3次拡張事業		計
	宇陀川系統	吉野川系統	吉野川系統	木津川系統	
事業経営認可年月日	昭和41年12月28日(創設事業) 昭和47年3月31日(第1次拡張事業) 昭和59年4月16日(第2次拡張事業)		平成13年3月20日		
計画目標年度	平成15年度		平成41年度		
事業費	2,620億円		481億円		3,101億円
水源	室生ダム(創設)	①津風呂・大迫ダム(創設) ②大滝ダム(1,2,3)	津風呂・大迫ダム ※農業用水転用	川上ダム	
取水量	1.6m³/秒 138,200m³/日	①1.07m³/秒92,400 m³/日 ②3.5m³/秒302,400m³/日	0.4m³/秒 34,500m³/日	0.3m³/秒 25,900m³/日	6.87m³/秒 593,400m³/日
	創設 : 2.67m³/秒 230,600m³/日 第1、2次 : 3.5m³/秒 302,400m³/日 計 : 6.17m³/秒 533,000m³/日		0.7m³/秒 60,400m³/日		
最大吸水量	500,000m³/日		56,500m³/日		556,500m³/日
給水開始	昭和45年度から一部給水開始 平成9年度までに全27市町村へ給水		平成22年度から給水開始(計画)		
給水市町村	奈良市,大和高田市,大和郡山市,天理市,橿原市,桜井市,御所市,生駒市,香芝市,平群市,三郷町,斑鳩町,安堵町,川西町,三宅町,田原本町,大宇陀町,菟田野町,榛原町,高取町,明日香村,新庄町,當麻町,上牧町,王寺町,広陵町,河合町		28市町村(室生村を加える)		

出典:「奈良県営水道」奈良県水道局

第6回大和川流域委員会

4-2-2. 大和平野水道水概要図



出典:「奈良県営水道」
奈良県水道局

第6回大和川流域委員会

4-2-3. 県営水道の施設

水源

県営水道は、吉野川(紀の川)の津風呂岳・大迫ダム及び淀川水系平野川の室生ダムを水源としています。
また、現在吉野川上流に建設中の大迫ダムからも利水する予定であり、県営水道施設の拡張事業を推進しているところです。
なお、人口増加に伴う給水量の増加に対しては、大迫ダム完成までのつなぎ水源として吉野川(紀の川)の暫定水利権を取得して手当てしています。

さらに、将来的水源として、吉野川の津風呂岳・大迫ダムを水源とするかんがい用水の水源地帯への転用や淀川水系の川上ダムからの利水を予定しています。

■水源関連ダム

種別	室生ダム	津風呂ダム	大迫ダム	大和ダム	川上ダム
事業	本津川上流総合開発事業	十津川・紀の川総合開発事業(一貫二期)	大和ダム建設事業	室川総合開発事業	室川総合開発事業
水系	淀川水系(宇陀川)	紀の川水系(津風呂川)	紀の川水系(紀の川)	淀川水系(室川川)	淀川水系(室川川)
目的	治水 上水道 かんがい	かんがい 上水道	かんがい 上水道 発電	治水 上水道 発電	治水 上水道 発電
容量への供水量(㎡/秒)	1.6	1.07(一期) 0.4(二期)	3.5	0.3	
所在地	室生村	吉野町	川上村	川上村	三妻郡山内
完成年月日	S.45年3月	S.37年3月	S.48年10月	建設中	建設中
事業主体	水資源機構	農林水産省	国土交通省	水資源機構	水資源機構

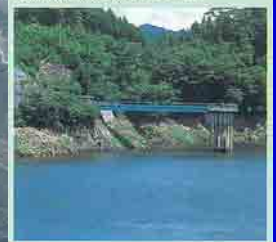
宇陀川系統

◆室生ダム



取水塔

室生ダムの取水塔には、4つの取水口があり、ダムの水質の状況に応じた取水を行っています。



出典:「奈良県営水道」
奈良県水道局

第6回大和川流域委員会

吉野川系統

◆大迫ダム

◆大滝ダム



◆津風呂ダム

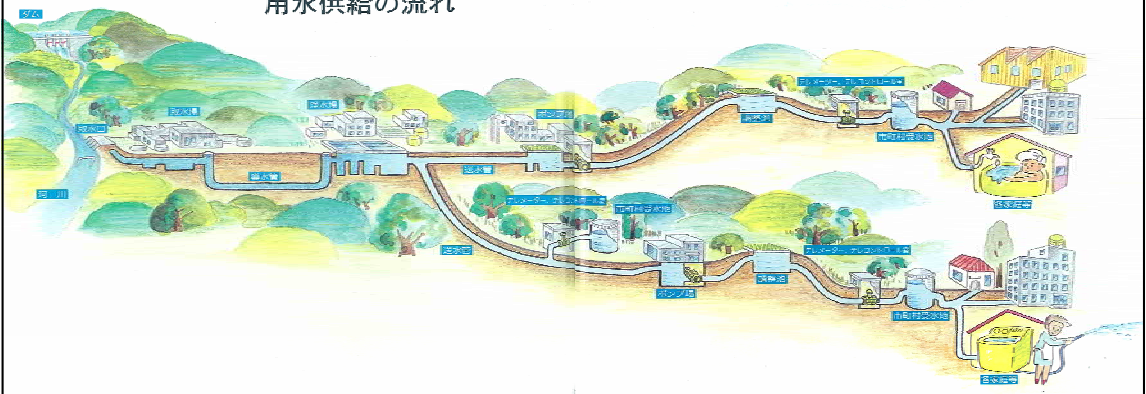
出典;「奈良県営水道」
奈良県水道局

第6回大和川流域委員会

4-3. 県営水道のすがた

用水供給の流れ

県営水道は、吉野川の水を安定供給するため、奈良県営水処理施設に設置している。水処理施設は、水質を浄化し、安全な水を供給するために、浄化槽やろ過装置などを備えています。また、水質を監視し、必要に応じて調整を行っています。浄化槽やろ過装置は、水質を浄化するために、浄化槽やろ過装置などを備えています。浄化槽やろ過装置は、水質を浄化するために、浄化槽やろ過装置などを備えています。



出典;「奈良県営水道」
奈良県水道局

第6回大和川流域委員会